

令和6年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和7年3月31日時点)

施設名	港区立芝地域包括支援センター (芝地区高齢者相談センター)						
指定管理者	医療法人財団百葉の会						
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 9 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	○	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	—
施設所管課	保健福祉支援部高齢者支援課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託（シルバー人材センター等）	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	9	9	0	1	1	0	0	10
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和 年度	令和 年度		備 考	
正規・非正規職員の退職者数	5	7	7					

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和 年度	令和 年度	備 考
総合相談件数（件）	10,750	14,218	13,880			
予防プラン作成件数（件）	3,304	3,305	2,802			
訪問件数（件）	2,930	3,202	3,019			

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和 年度	令和 年度	備 考
経費実績	収入	53,103,516	58,805,647	63,001,617	0	0	
	指定管理料（清算後）	48,397,591	54,446,725	59,128,910			
	利用料金収入	4,705,925	4,358,922	4,610,028			
	その他収入	0	0	0			
	支出	48,742,605	52,908,375	58,052,513	0	0	
	職員人件費	37,414,094	41,110,851	47,685,475			
	光熱水費	1,324,274	1,105,434	1,092,049			
	修繕費	0	0	363,000			
	事業運営費	1,247,852	2,390,811	1,964,373			
	施設管理経費	1,980,009	2,507,738	3,006,654			
	その他経費	6,776,376	5,726,000	3,940,962			
	差引収支額	4,360,911	5,897,272	4,949,104	0	0	
	年度協定書で定める指定管理料	63,063,000	65,304,256	61,595,221			

5 管理運営状況に対する評価

項 目		評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
				評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	- / 5	- / 5	×1	- / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	- / 5	- / 5	×1	- / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	- / 5	- / 5	×1	- / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声等を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	3 / 5	×5	15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	1 / 5	1 / 5	×2	2 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	3 / 5	×3	9 / 15
区による評価合計点						61 / 100

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、

該当項目は「-：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	幅広い研修の参加やOJTの実践、業務分担を見直し、職員定着化及び港区地域包括支援センターとしての専門性の確立に努めました。特に、個人情報取扱等のコンプライアンスや多岐に渡る生活課題への対応力、接遇や相談援助スキルを含め、より専門性のある職員育成と相談体制の実践に取り組みました。 また、民生委員、サロンの運営者、介護予防リーダー・サポーター等地域住民との繋がりや再構築を積極的に行い、地域ニーズの再集約に注力し、主催事業の新規メニューや地域ケア会議の内容の創意工夫等へと発展させて実施しました。芝地区の地域特性として、大企業本社や基幹病院が多くあるため、認知症サポーター養成講座をきっかけとして、介護離職防止に向けた講座等の企業企画学習会への協力要請機会が増え、そのニーズに対応した講座事例の蓄積ができています。
区（施設所管課）による評価	職員の定着化が課題であったため、各種研修への参加機会を増やし、また新たにOJTによる指導を実践しました。さらに、専門研修の内容を充実させ、職員のスキル向上に努めました。今後、職員の定着化を実現させ、更なる職員のスキル向上が必要です。また、企業向けの研修を継続的に実施してきたことから、企業側からの依頼が増えており、一定の成果が出ているといえます。 引き続き、職員同士のサポートを充実させ、地域と連携した活動が続けられるよう指導・助言していきます。

6 評価

令和6年度の管理運営に関する総合評価

B

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

A：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）